

<速報>

* 7月1日、米海軍の宴会域戦闘艦とフィリピンのフリゲート艦がイスラム過激派への対処などを目的にフィリピン南西のスルー海で同号哨戒活動を実施した。

* 7月2日(日本)、容共都議会議員選挙(定数127)が実施され、「都民ファーストの会」が49議席(無所属併せて55議席)を獲得し第1党に躍進、自民党は57議席から23議席に激減した。共産党は17議席から19議席に増加。民進党は7議席から5議席に後退した。

* 7月2日、米国FOXニュースが米国国防当局者の話として、米海軍艦船が中国が実効支配する南シナ海の西沙sン穂等のトリトン島から12カイリ内を航行したと報じた。中国の軍事拠点化に対抗する「航行の自由作戦」と見られる。

* 7月2日、シリアの首都ダマスカスで当局が追跡していた3台の車両が学は津市、少なくとも19人が死亡し、多数が負傷した。

* 7月2日、イラク西部アンバル州の国内避難民キャンプで自爆テロが発生し、女性や子どもを含む14人が死亡した。「イスラム国」系列のアマク通信が犯行声明を出した。

* 7月3日、ドイツの最大与党1キリスト教民主同盟(CDU)と姉妹政党のキリスト教社会同盟(CSU)が9月24日の総選挙に向けた共通の公約を発表、CSUが求めていた難民受け入れの上限規制についてはCDU党首を務めるメルケル首相が押し返す形で見送られた。

* 7月3日、米国国防総省がソマリアで米軍部時間2日にアルカイダ系の「アルシャバブ」に対する空爆を実施したと発表した。

* 7月4日、シリアで「イスラム国」の掃討作戦を進める有志連合はクルド人を中心とする「シリア民主軍(SDF)」が3日に北部ラッカの旧市街に突入したと発表した。

* 7月4日、北朝鮮が同日保全9時40分頃に大陸間弾道ミサイル(ICBM)「火星14」の発射に成功したと発表した。高度は2800キロに達し、射的距離は6600キロに達すると見られる。日本の排他的経済水域(EEZ)に落下した模様。

* 7月4日、スペインのカタルーニャ自治州の連立政権が10月1日に行われる住民投票で賛成票が上回った場合、48時間以内に独立を宣言すると表明した。

* 7月4日、アフガニスタンの南部ゲルマンド州当局が州都ラシュカルガの西方ナワ地区で行った掃討作戦で「タリバン」の兵士62人を殺害し、40人を負傷させたと発表した。

* 7月4日、ミャンマー西部ラカイン州の州都シットウェーで少数派のイスラム教徒ロヒンギャの7人が100人ほどの仏教徒に集団に襲われ、1人が死亡、6人が重傷を負った。

* 7月5日、マクロン・フランス大統領がパレスチナ自治政府のアッバス議長とパリで会談し、イスラエルとパレスチナの和平交渉について双方が共存する「2国家共存」を指示することで一致した。

* 7月5日、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、バーレーン、エジプトの4か国がカイロで外相会議を開き、カタールとの断交と交易停止の継続を確認した。

* 7月5日、ベネズエラの首都カラカスで鉄棒などで武装した与党支持者約200人が議会を襲撃し、議員や議会職員を暴行した。

* 7月7日、トランプ大統領がG20首脳会議の合間にメキシコのペニャニエト大統領と会談し、NAFTAの再交渉、「壁の建設」問題、麻薬密輸、不法移民問題等について話し合った。

* 7月7日、エジプトのシナイ半島北部ラファ郊外で爆弾を積んだ車両2両が軍の検問所で自爆し、兵士26人が死亡し、33人が負傷した。武装勢力は車両による自爆攻撃後、銃撃や携帯式ロケット弾で攻撃し、軍が反撃した。軍は戦闘員40人を殺害したと発表した。

* 7月7日、ドイツのハンブルグで開催中のD20首脳会議の合間に安倍首相が習近平・中国国家主席と会談し、安倍は中国が主導している「一带一路」に協力する立場を伝えた。

* 7月7日、ドイツのハンブルグで開催中のG20首脳会議の合間に、トランプ大統領がロシアのプーチン大統領と会談した。シリア紛争をめぐり、同国西部での「停戦」で合意した。

* 7月7日、ドイツ・ハンブルグで開催中のG20首脳会議がテロ対策に関する首脳声明を発表した。声明では、税関など水際対策での協力のほか、テロの資金源を断つための情報交換を進化させるとした。

* 7月8日、G20首脳会議が首脳宣言を採択して終了した。宣言には、米国以外の19か国が結束して地球温暖化対策の国際的枠組み「パリ協定」に取り組むことが明記された。

* 7月8日、ベネズエラで2014年に反政府デモを先導したとして禁固13年9ヶ月の刑で収監されていた野党指導者レオポルド・ロペス(46)が自宅監禁にうつされた

* 7月9日(日本)、新宿駅前「安倍1強」に反対するデモが行われ、約8000人が参加した。早稲田大学では「安保関連法に反対する学者の会」主催で反対集会が開催され650人が参加した。愛知、大阪、和歌山、愛媛、福岡でも同時開催される。

* 7月9日、イラクのアバディ首相が「イスラム国」が最大拠点としてきた北部モスルに入り、自身のツイッターで「モスルの解放を宣言し、イラク軍及びイラク国民の勝利を祝うためモスルに到着した」との声明を出した。同日、首相府は声明を出し、勝利宣言を行う。

* 7月9日正午、シリア南西部で米国とロシア、ヨルダンが設置で合意した「安全地帯」での停戦が発効した。

* 7月9日、トルコの最大都市イスタンブールで野党第1党の協和人民党(CHP)が主導してエルドアン政権に抗議する集会が開催され、同政権の強権姿勢に反発する約17万人が参加した。

* 7月10日、シリア内戦の終結を目指す国連仲介の和平協議がジュネーブで再開された。協議は5月以来で、アサド政権と反体制派の代表団が今後の統治体制や新憲法の起草について、国連側とそれぞれ個別に話し合った。

* 7月10日、米国のティラーソン国務長官が訪問先のクウェートでサバハ首長と会談した。協議の内容は不明だが、クウェートはサウジアラビアなど4ヶ国がカタールと断交している問題で仲介役を務めており、関係修復の調停案や妥協案を話し合ったと見られる。

* 7月10日、エクアドルが隣国ペルーとの国境の一部に壁を建設し始めたことにペルー政府が反発し、大使召還を行った。

* 7月11日、在イギリスのシリア人権監視団が「イスラム国」の最高指導者バグダディ容疑者について、「脂肪を確認した情報がある」ことを明らかにした。監視団の現地活動家が「イスラム国」幹部から得た情報では、潜伏していたシリア東部デリゾール県のイラク国境に近い知己で死亡したという。

* 7月12日、インドネシアのジョコ大統領が憲法が定める国家理念に反してイスラム教国家樹立などを求める過激・急進主義組織の解散を可能にする大衆団体の改正法令に署名したと同国政府が明らかにした。

* 7月12日、トランプ大統領の長官が大統領選挙期間中にロシア政府に近いロシア人女性弁護士に面会した事実が明らかになり、ロシアが大統領選挙に介入した「ロシアゲート」義wカウがさらなる波紋を呼び、疑惑を調査していたコミーFBI長官の解任は司法妨害だとしてトランプ大統領への弾劾決議案が提出された。

* 7月12日、ティラーソン米国務長官がサウジアラビア西部ジッダでサルマン国王と会談し、「最近の地域情勢とテロ対策」を協議した。

* 7月13日、コロンビアのビジェガス国防相がELNの幹部ヌニェス容疑者を北西部アンティオキア州のリオネグロで逮捕したと発表した。

* ハワイ州の連邦地裁がトランプ大統領の中東・アフリカ6ヶ国の国民を一時入国禁止とする大統領令の適用範囲を一部緩和する命令を出した。政権は米国に「近い」親族がいる場合は入国を認めるとしつつ、祖父や孫は認めていなかったが、命令は「祖父や孫も認めるとした。

* 7月14日、エジプトの首都カイロ郊外で関門所が武装集団の襲撃を受け、警察官5人が死亡した。オートバイの3人組が検問所に対して銃を乱射し走り去った。

* 7月14日、エルサレム旧市街で男3人がイスラエルの警察官を銃撃し、警官2人が死亡、1人が負傷した。アラブ系イスラエル人の男3人はその場で射殺された。

* 7月14日、北朝鮮を研究している米国ジョンズ・ホプキンス大学の研究グループ「38ノース」が昨年9月～今年6月に撮影された北朝鮮・寧辺の核施設で核兵器の原料となるプルトニウムを増産した可能性があると公表した。

* 7月14日、ベネズエラの反政府勢力がマドゥロ政権が打ち出した「制憲議会」設立方針に関して16日に非公式に「国民投票」を実施するよていであるところ、国連関係者が政府に対して国民投票に参加する権利を保障するよう求める声明を発表した。

* 7月14日、エルサレム旧市街でアラブ系イスラエル人3人がイスラエル警官2人を銃撃して死亡させ、その直後に警官隊によって射殺された。

* 7月15日までにブラジルの労働組合や野党がテメル政権が提案した改悪労働法に強く反発し、20日にテメル大統領の辞任を掲げた全国的な抗議行動を実施すると発表した。

* 7月15日、中国の4直轄市の一つである重慶市トップを務めた孫政才・共産党同市委員

会書記（５３）が解任され、身柄を拘束された。「重大な規律違反」で党中央規律検査委員会の調査を受けている模様。

* 7月16日付けフランス地方紙とのインタビューでユロ環境相が電力供給に占める原子力発電の割合を2025年までに50%にする目標を実現するために、明確な工程表を定める必要があるとの考えを示した。

* 7月16日、イランの司法当局がロハに大統領の弟で、大統領特別補佐官のホセイン・フェレイドゥン氏を逮捕したと発表した。

* 7月16日、フランスのマクロン大統領がイスラエルのネタニヤフ首相と会談し、イスラエルとパレスチナが共存する形で中東和平を実現する「2国家解決」に向け、教義に応じるよう要請した。

* 7月16日、ポーランドの右派政党「法と正義」が多数派を握る議会で進んでいる司法の独立を奪う「司法改革」に抗議するデモがワルシャワで行われ、約1万人が参加した。

* 7月16日、米誌『ワシントン・ポスト』とABCテレビが共同で実施した世論調査結果を公表した。トランプ大統領の支持率は36%に低下、就任半年の時点では過去70年を遡って歴代大統領で「最低」の支持率となった。

* 7月16日、ベネズエラでマドゥロ政権の「制憲議会」法h心をめぐる反政府勢力の非公式「国民投票」が実施され、投票した約750万人のうち710万人以上が新憲法制定に反対したと発表された。

* 7月16日、イスラエル警察が14日の警官殺害事件を受けて封鎖した敷地を解放した際、金属探知器を設置したため、イスラム教徒が連日抗議を続けている。

* 7月17日、米国通称代表部がNAFTAの再交渉の目標を公表し、貿易赤字の縮小を最優先する方針を示した。

* 7月18日、米軍制服組ナンバー2のセルバ統合参謀本部副議長が上院軍事委員会公聴会で証言し、北朝鮮が7月4日に発射した大陸間弾道ミサイル（ICBM）について、「明らかに米国土の一部に届く」と発言、北朝鮮がICBMに相当する能力を持っていることを認めた。

* 7月18日、トランプ政権がイランの弾道ミサイル開発に関わったとして、同国などの計18の企業や個人を新たに制裁の対象に加えたと発表した。

* 7月18日、ウクライナ東部の親ロシア派武装勢力が現在のウクライナに取って代わり「マロロシア（小ロシア）」という名称の「国家」を樹立すると一方的に宣言した。

* 7月18日、フィリピンのドゥテルテ大統領がミンダナオ島など南部に布告した戒厳令を2017年末まで延長する方針を明らかにした。

* 7月18日、トランプ政権がイランの弾道ミサイル開発に関わったとして同国などの計18mの企業や個人を新たに制裁の対象に加えたと発表した。

* 7月18日、イエメンの南西部タイズ県で市民が空爆の巻き添えとなり、少なくとも20人が死亡した。サウジアラビア主導の連合b軍による空爆とみられる。

* 7月19日、ウルグアイで国の管理の下、嗜好用マリファナの市販が解禁された。前政権下の2013年に世界で初めて大麻の栽培、販売、塩湯を合法化した。

* 7月19日、イランのロウハニ大統領が米国がイランに課す新たな制裁について、米国など6ヶ国とイランが結んだ「核合意の精神と字句にさえ反する」と批判した。

* 7月19日、米国通商部がNAFTAの再交渉の初協議を8月16日から20日までの5日間ワシントンで開くと発表した。

* トランプ大統領がニューヨーク・タイムズ紙のインタビューに答え、セッションズ司法長官が自らの判断でロシア政府の介入疑惑の捜査から外れたことを「極めて不当」と非難した。

* 7月20日、イギリスのEU離脱をめぐる第2回交渉が終了した。6月の前回の交渉ではイギリス政権の組閣直後でないお湯に入らず交渉の進め方について決められただけだったが、今回、市民の権利、離脱の際にイギリスが一括して支払う救出金などの問題で双方の立場を出し合った。

* 7月20日、ポーランドの下院が最高裁判事を政府の意向に沿って総入れ替えできるようにする法案を賛成235、反対1892、棄権23で可決した。22日には上院を通過。

* 7月21日、トランプ政権がホワイトハウスのスパイサー報道官の辞任を発表した。対外発信戦略を統括する広報部長人事などで政権内の対立があったとされる。

* 7月21日、アルゼンチンで行われているMERCOSUR首脳会議が、反政府活動が活発化しているベネズエラ情勢に関し、マドゥロ政権と野党側に対話を求める共同声明を採択した。

* 7月22日、アフガニスタン南部ヘルマンド州当局者が21日に米軍が同州グレシュク地区で実施した空爆で地元の警官16人が死亡したと明らかにした。NATOが米軍の誤爆だったことを認めた。

* 7月22日、米国海軍の最新鋭の原子力空母「ジェラルド・フォード」が就役した。米国海軍の新型空母収益は42年ぶりで、空母11隻態勢となる。

* 7月22日、イランのデフガン国防相が新型ミサイルの生産を開始すると発表した。国会も弾道ミサイル開発関連の予算を増額するほうあんを近く可決する見通し。

* 7月22日、エルサレム旧市街地のアルアクサ・モスクをめぐる緊張激化について、エジプト、スウェーデン、フランスが国連安保理理事会の開催を求めた。

* 7月23日、ヨルダンの首都アンマンのイスラエル大使館で銃撃があり、ヨルダン人2人が死亡したほか、イスラエル人1人が負傷した。ヨルダンではエルサレム旧市街の聖地に金属探知機が設置されたことへの反発が高まっている。

* 7月23日、米国ホワイトハウスのサンダース報道官がABCテレビに出演し、トランプ政権は連邦議会で審議中のロシア制裁強化法案を肯定的に受け止めていると述べ、議会を通過した後に大統領が署名する可能性を示唆した。

* 7月24日、アフガニスタンの首都カブールで自動車爆弾が爆発し、36人が死亡、40

人以上が負傷した。「タリバン」が犯行声明を発出。

* 7月24日、中国共産党の中央規律検査委員会が重慶市トップを解任された孫政才・前同市党委員会書記（53）を「重大な規律違反」で取り調べていると発表した。

* 7月24日、フィリピンのドゥテルテ大統領が就任2年目の施政方針演説を行い、麻薬犯罪撲滅作戦について、「国際社会や国内の批判があろうと戦いはやめない」と述べた。

* 7月24日、トランプ大統領の娘婿のクシュナー大統領上級顧問が上院での非公開の聴取に応じた後、記者団に「ロシアと共謀していない。いかなる不適切な接触もない」と疑惑を否定した。同氏は書面証言で、キス略駐米大使(当時)を含むロシア要人らとの接触が計4階あったことを認めた。

* 7月24日、ポーランドのドゥダ大統領が司法の独立を破壊すると全国で大規模なデモが続いていた司法改革法について、議会を通過した3つの法律のうち2つに拒否権を発動すると発表した。

* 7月25日、イスラエル政府がエルサレム旧市街の聖地に金属探知機が設置されたことにイスラム教徒が反発している金属探知機の撤去を始めた。27日に完了した。

* 7月25日、米国下院はロシアなどへの制裁強化法案を419対3の圧倒的多数で可決した。トランプ大統領が制裁を緩和するには議会の同意を必要とする条項が盛り込まれており、親口的な姿勢を示す同大統領を牽制する内容となっている。

* 7月25日、米国のソートン国務次官補代行が上院のアジア太平洋小委員会の公聴会で核・ミサイル開発を続ける北朝鮮と取引する中国企業などに対する制裁について「まもなく実施される」と証言した。

* 7月25日、リビアのサラージ暫定首相と、民兵組織「リビア国民軍」を率いる旧リビア軍のハフタル将軍がパリ郊外で会談し、停戦で合意し、大統領選挙と議会選挙の早期実施に取り組むことで一致した。

* 7月25日、アフガニスタン南部カンダハル州で軍基地が武装集団に襲撃され少なくとも兵士26人が死亡した。「タリバン」が犯行声明を出した。

* 7月25日、パレスチナのアッバス議長がパレスチナ当局の定例会見で「イスラエルのすべての新しい措置は取りやめなくてはならない」と述べ、イスラエル首相府が同日未明に発表した新措置を拒絶した。

* 7月25日、中国の王毅外相がマニラでフィリピンのカエタノ外相と会談し、南シナ海問題などについて話し合った。会談後の記者会見でカエタノ外相は中国が提起する協働開発について「32年間前進をつくれなかったが、習近平主席とドゥテルテ大統領の時代に打開する知恵が生まれることを願っている」と前向きな姿勢を示した。

* 7月25日、政府が推進する制憲議会に反対する暴力的な抗議行動による不安定な経済状況と先鋭化する政治危機の下で、数千人のベネズエラ国民が陸路で国境を越えてコロンビアに移住した。

* 7月26日、ベネズエラでマドゥロ政権が進める制憲議会構想に反対する野党勢力が世

にかけた48時間ゼネストが開始され、27日に終了した。

* 7月27日までに、ナイジェリア北東部ボルノ州で国営石油会社の調査員が「ボコ：孕む」の襲撃を受け、50人以上が死亡した。

* 7月27日（日本）、稲田朋美防衛相が南スーダン国連平和維持活動派遣部隊の日報隠蔽問題に関連して閣僚を辞任する意向を固め、安倍首相に伝えた。

* 7月27日、トランプ政権と議会共和党が税制改革に関する共同声明を出し、下院の共和党案に含まれていた「国境での課税調整」を盛り込まないことを表明した。

* 7月28日（日本）、稲田朋美防衛相が南スーダンPKOに派遣されていた陸上自衛隊の日報問題で特別防衛監査の結果を公表し、稲田氏が出席した幹部会議で「方針決定や量層はなかった」と結論づけた。防衛省は監察結果を踏まえ事務方トップの黒江哲郎事務次官など計5人を懲戒処分とした。

* 7月28日、米国上院が「医療保険制度改革（オバマケア）」の一部を撤廃する法案を賛成49、反対51で否決した。

* 7月28日、イタリア政府が閣議で北アフリカのリビアからボートなどで地中海を渡り欧州を目指す移民・難民の流入を阻止するため、リビア沖に海軍の船艇を派遣することを承認した。

* 7月28日、パキスタンのナワズ・シャリフ首相（67）が、自らの資産隠し疑惑に関し、同日最高裁が同首相の下院議員資格を無効とする判決を下し、罷免を決定したため、辞任した。29日、同首相は中部パンジャブ州首相である弟のシャバズ・シャリフ氏（65）を後継指名した。

* 7月28日、エルサレム旧市街のアルアクサ・モスクの敷地で数千人のイスラム教徒が2週間ぶりに礼拝を行った。同日、イスラエル警察は同敷地内に52歳未満の男性が入ることを制限した。

* 7月28日、トランプ大統領がブリーバス大統領首席補佐官が辞任し、後任にケリー国土安全保障長官を起用すると発表した。

* 7月28日、北朝鮮が大陸間弾道ミサイル（ICBM）「火星14」を発射した。高度は3700キロで、1000キロ飛行して日本の排他的経済水域内に落下した。飛距離は10000万キロに達し、米国本土に達する能力を有すると見られる。

* 7月28日、ホワイトハウスが上下両院が圧倒的多数で可決したロシアなどへの制裁強化法案についてトランプ大統領が成立のために必要な署名を行う方針だと発表した。

* 7月28日、ドイツ北部ハンブルグのスーパーマーケットで料理用の刃物を持った男が店内の客を次々に切りつけ、1人が死亡し、5人が負傷した。29日、捜査当局は容疑者は難民申請していたアラブ首長国連邦（UAE）主審の男（26）で、「イスラム過激派」として知られていたことを明らかにした。

* 7月29日、8月8日投票の大統領選挙・総選挙を控えたケニアでルト副大統領の自宅が武装集団に襲撃された。副大統領派不在で無事だった。

- * 7月30日、中国人民解放軍創設90周年を記念した軍事パレードが内モンゴル自治区の朱日和訓練基地で行われた。中央軍事委員会主席を兼ねる習近平国家主席が演説した。
- * 7月30日、米国のヘイリー国連大使が、北朝鮮の大陸間弾道弾（ICBM）発射を受け、「北朝鮮への国際圧力を大幅に強化しない追加措置は価値がない」と声明を発し、形式だけの話し合いには応じない姿勢を強調し、中国に対し協力するのかどうかの決断を迫った。
- * 7月30日、ベネズエラでマドゥロ政権が新憲法を立案する制憲議会の銀選挙が強硬実施された。選管発表によると投票率は41.53%で約800万人が投票した。
- * 7月30日、ロシアのプーチン大統領が国営テレビのインタビュー、で米国議会で可決された対ロ制裁強化法案の報復措置として、ロシア政府が国外追放した米外交官らが755人に上ると明らかにした。
- * 7月30日、米空軍が戦略爆撃機 B1B を2機、九州や朝鮮半島に展開させ、航空自衛隊や韓国空軍とそれぞれ共同訓練を行った。
- * 7月31日、安倍首相がトランプ大統領と電話協議を行い、北朝鮮への対応について、国連安保理による制裁決議だけでは不十分であるとして、中ロ両国への働き掛けを強める方針で一致した。
- * 7月31日、アフガニスタンの首都カブール中心部でイラク大使館を武装集団が襲撃した。「イスラム国」支部が犯行声明を出した。
- * 7月31日、トランプ政権がベネズエラのマドゥロ大統領が制憲議会選挙を強行したことを受け、同大統領に対する金融制裁を発表した。
- * 7月31日、トランプ政権が7月21日に広報部長に指名したアンソニー・スカラッチ（53）を解任した。